

ESA低反応性とは

- 明確な数字では定義されていない
- 保険診療上認可されている用法・用量でHb値が上昇しないか、あるいは目標範囲内に維持できない場合はESA低反応性である可能性がある
- 一般に反応性不良の患者は10%ほどいると言われる
- 低反応性の原因検索を速やかに行うべきであり、Hb値を上げるためにむやみにESAの増量を優先すべきではない

ESA低反応性の要因

出血・失血	消化管出血、月経などの出血
	ダイアライザ残血
造血障害	感染症、炎症
	自己免疫疾患
	アルミニウム中毒、鉛中毒
	高度の副甲状腺機能亢進症（線維性骨炎）
	透析不足
	RAS系阻害薬
	悪性腫瘍
造血に必要な要素の不足	鉄欠乏、銅欠乏、ビタミンC欠乏、葉酸・ビタミンB12欠乏
血液疾患	多発性骨髄腫、溶血、異常ヘモグロビン症
脾機能亢進症	
抗EPO抗体	
その他	亜鉛欠乏、カルニチン欠乏、ビタミンE欠乏